

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
- : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施策）
- : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	・第6次総量削減基本方針に基づき策定した総量削減計画及び総量規制基準を踏まえ、第6次総量規制（目標年度：平成21年度）を着実に実施する。 ・平成21年4月の総量規制基準の全面適用に向けた取組を進める。		環境省 国土交通省 農林水産省 埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県 横浜市、川崎市 千葉市、さいたま市	平成15年度から継続実施
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	・平成17年5月の中央環境審議会答申「第6次水質総量規制の在り方について」で閉鎖性海域における目標とすべき水質、水質汚濁メカニズムの調査研究及び効果的な対策の在り方を検討することとされたことを踏まえ、「閉鎖性海域中長期ビジョン策定に係る懇談会」を設置し、東京湾における許容負荷量と負荷削減の最適化、削減以外の対策についての検討を行う。		環境省 水・大気環境局	
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	規制対象事業場への立入指導、自主測定結果の報告徴収及び取りまとめを実施		千葉市 環境局	平成15年度から継続実施
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	水質汚濁対策事業により、陸域負荷削減策（水質総量規制）に係る事務を実施		さいたま市 環境経済局	平成15年度から継続実施
1-1-2	効率的な事業施策の実施	陸域汚濁負荷削減対策の定量化に係る検討を実施		国土交通省 下水道部	
1-1-2	効率的な事業施策の実施	下水道事業における排出枠取引制度に関する調査を実施		国土交通省 下水道部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	下水道の整備を促進するとともに高度処理の導入を推進		国土交通省 下水道部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	下水道の整備		埼玉県 都市整備部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	荒川水循環センター、元荒川水循環センター、中川水循環センター、新河岸川水循環センターにおいて高度処理施設の整備を実施		埼玉県 都市整備部	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
1-2-1	下水道	関連流域下水道整備（県事業分） （高度処理整備を含む）		千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	関連公共下水道整備 （千葉市等関連市町村事業分） （高度処理整備を含む）		千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	砂町水再生センターや八王子水再生センターなどに高度処理施設の建設を実施 ・3水再生センター高度処理施設（一部の系列）完成 ・6水再生センター高度処理施設（一部の系列）建設（継続）		東京都 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	高度処理の建設 北部第二、北部第一、港北、金沢、都筑、南部の各水再生センター		横浜市 環境創造局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	汚水未整備地区整備		川崎市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	高度処理施設を導入 入江崎水処理センター（西系）		川崎市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	・下水道普及率97.0%を目標に整備を推進 ・南部浄化センターで高度処理施設の増設及び改造を実施中（18年度末で日量132,500m ³ 稼働中）		千葉市 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	・約240haの下水道（汚水）整備を実施し、約15,500人下水道処理人口の増加を図る		さいたま市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-2	農業集落排水施設	農業集落排水施設の整備を11箇所を推進 （19年度まで113箇所完了）		農林水産省 農村振興局	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
1-2-3	浄化槽	市町村が主体となって浄化槽の整備・維持管理を行う事業等を積極的に活用し、浄化槽の整備を推進		環境省 廃棄物・リサイクル対策部	平成15年度から継続実施
1-2-3	浄化槽	生活排水対策を進めるため、浄化槽について市町村が行う補助に対して助成を実施 ① 単独処理から合併処理浄化槽への転換 41市町村、426基 ② 汲み取りから合併浄化槽への転換 26市町村、200基 ③ 高度処理型浄化槽の設置 12市町村、10基		埼玉県 環境部	平成15年度から継続実施
1-2-3	浄化槽	生活排水対策を進めるため、東京湾流域の18市町村が行う浄化槽設置に係る補助事業に対して助成を実施 ① 通常型設置補助(新設)986基 ② 通常型設置補助(単独、汲取り転換)301基 ③ 高度処理型浄化槽(新設、転換)706基 ④ 転換補助(上記の内数)499基		千葉県 環境生活部	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・合流式下水道の改善を実施		国土交通省 下水道部	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	合流式下水道の改善を実施		埼玉県 都市整備部	
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・処理場やポンプ所に雨水貯留施設の整備を実施		東京都 下水道局	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・磯子第二ポンプ場雨水滞水池の整備 ・高田ポンプ場沈砂池のドライ化の整備		横浜市 環境創造局	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・雨天時における流出負荷削減のため、自然吐口にスクリーン設置		川崎市 建設局	平成16年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・戸手ポンプ場の沈砂池のドライ化 ・渋川ポンプ場の沈砂池のドライ化		川崎市 建設局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・北部第2貯留管・稲毛黒砂貯留管の整備を継続 ・中央雨水ポンプ場雨水滞水池の整備を継続		千葉市 下水道局	
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・雨天時における流出負荷削減のため、雨水貯留施設の整備を実施		さいたま市 建設局	平成16年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	・雨天時における流出負荷削減のため、自然吐口にろ過スクリーンを設置		さいたま市 建設局	平成17年度から継続実施
1-4	河川の浄化対策	河川における有機汚濁負荷対策として、河川浄化対策施設を稼働		国土交通省 河川局	平成15年度から継続実施
1-4	河川の浄化対策	河川における有機汚濁負荷対策として、浚渫及び水質浄化対策を実施		東京都 建設局	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備・保全	関係4都県の民有林において、水質の浄化等に資するため、間伐等の適切な森林整備を計画的に実施するとともに、育成複層林の造成を行うなど、多様で健全な森林の整備を実施（森林整備事業）		林野庁 森林整備部	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備・保全	関係4都県の民有林において、水源のかん養や土砂の流出・崩壊の防止等森林の有する公益的機能の持続的発揮を図るため、必要な森林を保安林に指定し、その適切な保全を図るとともに、荒廃地の復旧整備や機能の低下した保安林の整備等を実施（治山事業）		林野庁 森林整備部	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備・保全	関係4都県における国有林において、森林の有する国土保全や水源かん養の機能発揮のための更新・保育、間伐等を実施		林野庁 国有林野部	平成15年度から継続実施
1-5-2	貯留、浸透施設の設置	貯留浸透施設の設置 浸透柵190個 浸透トレンチ635m 浸透マンホール29個		千葉市 下水道局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
1-6	浮遊ゴミ等の回収	中川の支流である綾瀬川で、河川浄化対策の一環として、市民とともに清掃活動を実施		さいたま市 環境経済局	平成15年度から継続実施（平成17年度を除く）
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を効果的に推進	・海水が汚染されヘドロ等の堆積した東京湾の東京港において、公害の原因となる堆積汚泥の浚渫実施 〈実施機関：東京都港湾局〉		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を効果的に推進	汚泥浚渫事業として、東京港運河水域の底泥の除去を江東地区と芝浦地区で実施予定		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミ等の回収	東京湾内海域を浮遊するゴミ・油を1隻の清掃兼油回収船で回収を実施		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミ等の回収	東京湾内海域を浮遊するゴミを4隻の清掃船で回収を実施		千葉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミ等の回収	東京港港湾区域内（一部を除く）を6隻の清掃船で海面清掃予定		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミ等の回収	横浜港港湾区域内の浮遊ゴミを7隻の清掃船で回収		横浜市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミ等の回収	川崎港における浮遊ゴミ回収などの海面清掃を2隻の清掃船で実施（平日1回以上）		川崎市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等によるゴミの回収	城南島海浜公園は地元企業、ボランティア等が参加した海浜清掃を年1回予定し、お台場海浜公園は関連機関、地元企業及び住民等が参加した海浜清掃を年3回予定		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等によるゴミの回収	市民団体による山下公園前の海底清掃活動と協働し、海底ゴミの回収を推進		横浜市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	羽田沖の浅場において維持管理及びモニタリング（水質及び底質調査、魚類等生態調査等）を実施予定		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東京湾奥部において、航路浚渫等により発生する土砂を活用した覆砂等により造成した干潟、浅場のモニタリングを実施		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東扇島において整備した平常時には、人工海浜等の親水機能を有する緑地においてモニタリングを実施		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	千葉港葛南中央地区において、岸壁改良時に設置した生物付着基盤となる附帯施設のモニタリングを実施		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	中央防波堤沖（新海面処分場東側護岸前面）において、磯浜の造成を図る		東京都 港湾局	
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	運河域における護岸整備にあたり、可能な限り水生生物に配慮したミニ干潟やカニ護岸等の整備を行う		東京都 港湾局	
2-2-3	深掘跡の埋め戻し	海上工事により発生した良質な土砂の、深掘跡への埋め戻しを実施		千葉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン及び底生生物調査、海水の長期分解性調査を実施		環境省 水・大気環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	水質測定計画に基づき、東京湾の水質調査を実施。DOは表層と底層で実施 東京湾内湾 18地点* 12回/年 * 千葉市 3地点及び船橋市 2地点を除く 県実施分のみ 東京湾内房 3地点 12回/年 6地点 6回/年		千葉県 環境生活部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 6地点		千葉県 環境生活部	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
3-1	モニタリングの充実	水質汚濁防止法に基づき環境基準点の、表層・底層のDOを毎月実施		東京都環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを予定		東京都港湾局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	DOについて、測定計画に基づき5地点で、毎月1日1回上下層で、採水・分析を実施		神奈川県環境農政部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	・DOについて、測定計画に基づき7地点で、毎月1回、採水・分析を実施 底質は6地点で年2回、底生生物については6地点を毎年2地点ずつ、3年間でローリングし調査を実施		横浜市環境創造局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	18年度に実施した調査結果の取りまとめ		横浜市環境創造局	平成16年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	DOについては測定計画に基づき6地点で毎月1日1回上下層で採水、分析を実施。 底生生物については6地点を毎年2地点ずつ、3年間でローリングし調査を実施		川崎市環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	・アピールポイント周辺の2地点で底層のDOを月1回実施		千葉市環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	モニタリングポストでの海潮流及び水質のモニタリングを実施		海上保安庁海洋情報部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	測量船により海潮流のモニタリングを実施		第三管区海上保安本部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	清掃兼油回収船により、東京湾の6地点の定点において、水質の観測を実施		国土交通省港湾局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
3-1	モニタリングの充実	お台場・城南島・葛西・大井ふ頭中央・若洲・東海ふ頭の6海上公園において、水質・毒貝調査を実施		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	川崎港内の水質測定局(1ヶ所)によりCOD等6項目の水質のモニタリングを実施		川崎市 環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	多摩川河口干潟の生物、底質の調査実施		川崎市 環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	多摩川河口干潟の生物調査(メガロベントス)の実施。川崎港及び多摩川河口付近の生物相調査(魚類)の実施。		川崎市 環境局	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	赤潮青潮調査としてDO測定等を8地点について月1~2回実施 青潮は発見ごとに状況調査を実施		千葉県 環境生活部	平成15年度から継続実施
3-1	モニタリングの充実	人工衛星により赤潮等の挙動をリアルタイムで把握するシステムの運用を実施		海上保安庁 海洋情報部	平成16年度から継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	モニタリングデータ及び人工衛星による赤潮等のデータをWebサイトで公開及び提供		海上保安庁 海洋情報部 第三管区海上保安本部	平成16年度から継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	環境情報を集約し、情報の共有・発信のためにインターネット上のWebサイトで東京湾環境情報センターとしてデータの公開及び共有を実施。さらに利用促進に向けたPRと機能拡張を実施。		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施 平成16年度に完了し、今後はPR促進に向けた実施を行う
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質環境総合管理情報システムの東京湾サイト(WOTB)においてGISを活用して東京湾の水環境に関する情報を視覚的に提供		環境省 水環境部	平成16年度から継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質データについての相互間のリンクを継続		横浜市 環境創造局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
3-3	市民参加型のモニタリング活動	・漂着ゴミ分類調査をお台場、千葉稲毛海岸等で実施し、調査結果を漂着ゴミマップとして取りまとめ公表		第三管区海上保安本部	平成15年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	海洋環境保全教室、講習会を開催		第三管区海上保安本部	平成15年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	「未来に残そう青い海」図画コンクールの開催、作品展示		第三管区海上保安本部	平成15年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	自然体験活動（干潟観察会）を開催		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	横浜港湾空港技術調査事務所港内に設置した海水導入池等を活用し、自然体験活動及び勉強会等を行う。		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	お台場海浜公園にて勉強会（のりづくり体験学習）を行う。		国土交通省 港湾局 東京都 港湾局	平成17年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	○海の魅力発見・体験in走水 公募市民により浜辺にて水中眼鏡で海中を覗いたり、スノーケルを使って水中を観察した後、発見した生物を図鑑で調べて、海辺の魅力を発見する。		横須賀市	平成19年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	○ピーチコーミング（浜辺の宝探し） 公募市民による海岸の漂流物を拾い集めて、専門家の解説を交えて、海の広がりや海辺の魅力を発見する。		横須賀市	平成19年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	○シーカヤック体験 インストラクターの指導により環境にやさしい二人乗りシーカヤックの乗船体験を行う。海の魅力・楽しさ・環境について理解を深める。		横須賀市	平成19年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	○海かぜカーニバル 海においてマナーの啓発や安全に楽しむことを目的にマリンスポーツの普及の取り組みとして体験乗船や海難救助展示訓練等を行う。		横須賀市 マリンスポーツ財団 マリンスポーツ湘南	平成19年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
3-3	市民参加型のモニタリング活動	「未来に残そう青い海ボランティアチーム」のメンバーと協力して指導啓発活動を実施		第三管区海上保安本部	平成15年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	海守会員に対して漂着ゴミ調査等の活動への積極的な参加の呼びかけ		第三管区海上保安本部	
3-3	市民参加型のモニタリング活動	国内外の研究者やNPO、行政関係者と幅広く情報を共有する「東京湾再生シンポジウム」の継続実施及び自然再生のための事例研究のワークショップを実施。		国土総合技術研究所	平成13年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	○追浜に浜を取り戻す活動 横須賀の良好な海域環境の保全と再生を市民協働で行うことを目的として、追浜の地名のみ残っている「浜」を取り戻し、海にふれあうことのできる市民の場を再生する活動を進めていく。		よこすか海の市民会議（市民団体）	
3-3	市民参加型のモニタリング活動	市民が訪れることが少ない川崎港を見学することで、港湾の果たす重要な役割を具体的に市民の方に紹介することを目的とした夏休み川崎港見学会において、東京湾への関心も高めるための啓発活動の一環として、東京湾再生に関するチラシの配布を実施する。		川崎市港湾局	平成19年度から継続実施
3-3	市民参加型のモニタリング活動	川崎港の使命と現状について市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高めるため、関係機関と団体が協力して開催している川崎みなと祭りにおいて、東京湾への関心を高めるための啓発活動の一環として、東京湾再生に関するチラシの配布を実施する。		川崎市港湾局	平成19年度から継続実施
5-2	定期フェリーによるモニタリング	東京湾フェリーに設置されている流れ・水質・気象測定装置を用いて東京湾口の環境モニタリングを連続的に実施するとともに、東京湾口における流れや水質の特徴を統計的にとりまとめる（東京湾ベイトウレース） また、観測データを利用して赤潮に影響を及ぼす外洋水の影響を把握する。		国土交通省 港湾局 <<独>>港空研へ委託	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
5-3	海洋短波レーダーによる観測	HFLレーダーモニタリングシステムに基づく東京湾での観測結果の公開を実施。		国土交通省 港湾局 国土総合技術研究所	
5-4	海外との交流	「天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)」の枠のもと、東京湾と米国の代表湾との比較研究を含む日米の閉鎖性海域における環境保全等の技術的課題等に関する情報交換を行う予定 <日本事務局・(独)港空研>		国土交通省 港湾局	CESTパネルは2、3年に1度日本、米国の交互で開催
第1回中間評価で新たに「東京湾再生のための行動計画に位置づけた取組み					
中-1 (再掲)	多様な主体との連携・協働による東京湾再生の推進	環境情報を集約し、情報の共有・発信のためにインターネット上のWebサイトで東京湾環境情報センターとしてデータの公開及び共有を実施。さらに利用促進に向けたPRを実施。		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施 平成16年度に完了し、今後はPR促進に向けた実施を行う
中-1 (再掲)	多様な主体との連携・協働による東京湾再生の推進	自然体験活動(干潟観察会)を開催		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
中-1 (再掲)	多様な主体との連携・協働による東京湾再生の推進	横浜港湾空港技術調査事務所港内に設置した海水導入池等を活用し、自然体験活動及び勉強会等を行う。		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
中-1 (再掲)	多様な主体との連携・協働による東京湾再生の推進	お台場海浜公園にて勉強会(のりづくり体験学習)を行う。		国土交通省 港湾局 東京都 港湾局	平成17年度から継続実施
中-1	多様な主体との連携・協働による東京湾再生の推進	「東京湾の環境をよくするための行動する会(仮称)」の支援。		国土交通省 港湾局	平成18年度から実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成20年度）

- : 前年度からの継続施策
 : 従来施策（東京湾再生に新たに位置づけた施
 : 新規施策

施策番号	項目	平成20年度実施予定施策	平成20年度実施施策	実施機関	コメント
中-2	重点エリア・アピールポイントにおける取組	お台場海浜公園の水域において、カキによる水質浄化実験を行う。実験では、カキのほかアマモ、アオサ、アカモク、ナマコといった水生生物も用いて、海本来の持つ自然浄化システムの構築を目指すとともに、イベントなどを通じて海をきれいにしていく啓蒙活動も行う。		東京都 港湾局	平成19年度から 継続実施
中-3-1	【実験的な取組】 東京湾における水質予測の高度化に関する試み	関係機関の協働により得られたモニタリング結果を活用したシミュレーションモデルの構築を進めていく。		国土交通省 港湾局	
中-3-1	【実験的な取組】 東京湾における水質予測の高度化に関する試み	【東京湾等閉鎖性海域における中長期シミュレーションの実施】 東京湾等閉鎖性海域における中長期ビジョンを策定するために実施する中長期シミュレーションに関して、 ・中長期シナリオの検討・設定 ・中長期シナリオに基づくシミュレーションの実施を行う。		環境省 水・大気環境局	平成19年度から 継続実施
中-3-1	【実験的な取組】 東京湾における水質予測の高度化に関する試み	東京湾に流入する汚濁負荷がDO濃度に及ぼす影響を予測		国土交通省 下水道部	
中-3-2	【実験的な取組】 東京湾－東京港－京浜運河周辺における生態系ネットワークに関する調査等	京浜運河を中心とする生物生息環境の把握、生物生息実験の実施、ならびに、東京湾における連象環境モニタリング手法の開発を行う予定		国土技術政策総合研究所	